

平成25年度文化庁委託事業

「国語に関する世論調査」を基にした動画作成業務

「ことば食堂へようこそ！」

情けは人のためならず

映像台本

4分16秒

※ この台本は、撮影時に使用したのですが、アドリブ等が加わっているため、実際の動画の台詞とは一部異なっているところがあります。また、台本という性格上、公用文式の表記と一致しない部分があります。

<p>・母親と娘の頭上に？マークが幾つか現れる</p>	<p>きているからね。」</p> <p>娘「お母さんだって、もう年なんだから無理しないでいいじゃない。」</p> <p>老婦人「まあ、『情けは人のためならず』って言うだろ。」</p> <p>娘「そう、思っているのに何で引き受けたの？</p> <p>『情けは人のためならず』って思ってるんでしょ？」</p> <p>老婦人「そうだよ？」</p> <p>娘・老婦人「(声を合わせて) ええ？」</p>
<p>解説</p>	
<p>3 スタジオ・解説者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面左で解説者：シェフあかりが話す ・解説者の横にメニューが出る <p>人に情けを掛けて助けてやることは、結局はその人のためにならない</p> <p>人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになることと書いてある</p> <p>人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになることを強調</p> <p>4 写真付き折線グラフ</p> <p>娘の 人に情けを掛けて助けてやることは 結局はその人のためにならない</p> <p>平 12: 48.7% → 平 22: 45.7%</p> <p>母親の 人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる</p>	<p>解説者「『情けは人のためならず』とは本来、『人に情けを掛けて助けてやることは、結局はその人のためにならない』という意味でしょうか？</p> <p>それとも『人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる』という意味でしょうか？」</p> <p>解説者「『情けは人のためならず』とは、本来『人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる』という意味です。」</p> <p>解説者「平成 12 年度の『国語に関する世論調査』では、本来の意味で理解している人の方が若干少なかったのですが、22 年度の調査では、本来の意味を理解している人と、理解していない人の割合は、ほぼ同じとなりました。」</p>

<p>平 12: 4 7. 2% → 平 22: 4 5. 8%</p> <p>グラフで表示</p> <p>5 解説者の右横に CG 文字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『情けは人のためならず』の『ためならず』の色が変わり 『に』が入る→『情けは人のためにならない』が現れる ・『情けは人のためならず』の『ならず』の色が変わり、『人のためでない→自分のためである』が現れる <p>ボード文字</p> <p>『情けは人のためならず』</p> <p>『人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる』</p> <p>6 スタジオ・ことば食堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイプ画面内 ソファで娘が友達とスマホで話す ・解説者 正面を向き、首をかしげて笑う 	<p>しかし、22年度の調査結果を年代別で見ると60歳以上を除く全ての年代で、本来とは違う意味で理解している人の方が多くなっています。」</p> <p>解説者「この言葉を本来とは違う意味で理解してしまうのは、『ためならず』の解釈を誤ってしまうからだと考えられます。『情けは人のためにならず』と助詞の『に』が入っていれば、『その人のためにならない』と受け取れるので、無意識のうちに『に』を補って理解しているようです。</p> <p>しかし、『人のためならず』の『ならず』には、助詞の『に』は入っていません。『人のためではない、すなわち、自分のためである』と読み取る必要があるのです。」</p> <p>解説者「『情けは人のためならず』。その本来の意味は、『人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる』ということです。」</p> <p>娘「うちの、お母さんって、情けは人のためならずって言いながら、本当に余計なことをしてると思わない？」</p> <p>解説者「…（笑顔でいる）。」</p> <p style="text-align: right;">END</p>
---	--